令和 4年度 3月補正予算 主要な事業の説明書

(一般会計)

令和5年 第1回 嬉野市議会定例会提出

令和4年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	3 民生費	項 1	社会福祉費	目 2	障がい者福祉費	事業名自立	工支援給付費(介護・訓練	(等給付費)		
総合計画による位置づけ 基本方針 ともに支え笑顔あふれるまちづくり 政策分野 ③障がい者											
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	予算書^	ページ 44	新規		継続	0

1. 事業の目的・効果

障がい者自らがサービスを選択し、サービスを提供する指定事業者・施設との契約によりサービスを利用することを目的とする。本人の所得に合わせて利用料を決定し、経済 的負担を軽減し、福祉の増進に資する。

4. 本年度の事業費内訳

2. 事業内容

- ○居宅介護サービス:ホームヘルパーが掃除、洗濯、食事の用意などの支援を行う。
- ○短期入所:家族等支援者が不在のとき、1人暮らしの人が支援が必要な時等に、施設を利用し支援を受ける。
- ○施設入所支援サービス:家庭での生活が困難な者等が施設に入所し、年間を通して支援を受ける。
- ○就労支援サービス:障がいを持つ者で、一般就労が困難な者に対し、日中活動として働く場を提供する。

3.	全体計画	事業期間	令和 元 年度	~ 令和 4	年度 事業費(千円)	3,064,894
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容			○居宅支援サービス ○施設支援サービス		○居宅支援サービス ○施設支援サービス
事	業費(単位:千円)	補助率	722,048	745,848	773,342	823,656
	国庫支出金	50%	363,625	371,775	384,480	411,380
財	県支出金	25%	181,812	185,887	192,240	205,690
源	市債					
内	ふるさと応援寄附金					
訳	その他					
	一般財源		176,611	188,186	196,622	206,586

令和4年度		
居宅支援サービス		
施設支援サービス	役務	ζ
	壮田	
222.252	1人以	J
823,656		
411,380		
205,690		
206,586		
_		

5. その他参考となる事項

※助成概要等については当初予算と同じ

当初予算事業費 775,656 千円 48,000 千円 3月補正事業費 (補正財源内訳) 国庫支出金 24,000 千円 県支出金 12,000 千円 一般財源 12,000 千円

補正後事業費 823,656 千円

		1114.74	7-1
役務費	(手数料)		896
扶助費		774,760	
	【今回追加補正】 48,000,000円	48,000	
	今年度見込額 822,760,000円		
	822,760,000-774,760,000円 $=48,000,000$ 円		
	· 計	822,760	896

予算額(単位:千円)

単独

補助

令和4年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款 3 民生費	款 3 民生費 項 1 社会福祉費 目 2 障がい者福祉費 事業名 身体障がい者補装具費					
総合計画による位置づけ 基本方針 ともに支え笑顔あふれるまちづくり 政策分野 ③障がい者						
実施主体市	所属部 市民福祉部 所属課 福祉	課 予算書ページ 45 新規 継続 ○				

1. 事業の目的・効果

障がい者(児)の身体の欠損、または損なわれた身体機能を補完、代替する用具の購入、修理及び借受けを行うことにより、職業その他日常生活の能率向上を図ることを目的 とする。

4. 本年度の事業費内訳

2. 事業内容

身体障害者手帳を所持する身体障がい者(児)を対象に、補装具の購入、修理及び借受けに要する費用の給付を行う。 (種目)義肢、装具、座位保持装置、座位保持椅子、視覚障害者安全つえ、義眼、眼鏡、補聴器、車椅子、歩行器、歩行補助つえ、重度障害者用意思伝達装置

3.	全体計画	事業期間	令和 元 年	F度	~ 令	和 4	年度	事業費(千円)	20,387
	実施年度		令和元年	度	令和2	2年度	令	和3年度	令和4年度
	事業内容		身体障害者手帳を所す 身体障がい者(児)を対 に、補装具の購入、修 借受けに要する費用の を行う。	対象 理及び に)給付 借	す体障害者手帳 す体障がい者(に、補装具の購 普受けに要する さ行う。	児)を対象 入、修理及び	身体障が に、補装」	具の購入、修理及び 要する費用の給付	身体障害者手帳を所持する 身体障がい者(児)を対象 に、補装具の購入、修理及び 借受けに要する費用の給付 を行う。
事	業費(単位:千円)	補助率	3,	394		3,611		6,082	7,300
	国庫支出金	50%	3,	000		2,500		3,750	3,650
財	県支出金	25%	1,	500		1,250		1,875	1,825
源	市債								
内	ふるさと応援寄附金								
訳	その他								
	一般財源		Δ1,	106		△139		457	1,825

	内 容	補助 単独
扶助費	身体障がい者補装具費	6,000
	【今回追加補正】 1,300,000円	1,300
	今年度見込額 7,300,000円	
	7,300,000円-6,000,000円=1,300,000円	
•		
•		
	計	7,300

予算額(単位:千円)

5. その他参考となる事項

※助成概要等については当初予算と同じ

当初予算事業費 6,000千円 3月補正事業費 1,300千円 (補正財源內訳) 国庫支出金 650千円 県支出金 325千円 一般財源 325千円

補正後事業費 7,300千円

令和4年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

	3 民生費	項 1 社	土会福祉費	1 H 3 *	老人福祉費	事業名 宅老所開設支援事業						
総合計画による位置づけ 基本方針 ともに支え笑顔あふれるまちづくり 政策分野 ②高齢者												
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	予算書	ページ	45	新規	\circ	継続	

1. 事業の目的・効果

宅老所の開設を行う特定非営利活動法人(NPO)に対し、経費の一部を助成することにより、高齢者福祉サービスの一翼を担うNPO法人の育成と活性化を図るとともに、多様な福祉サービスの充実に資することを目的とする。

2. 事業内容

宅老所を整備するための施設取得費や施設整備費等(改修工事費、委託料)の経費の一部を助成する。

3.	全体計画	事業期間	令和 4	年度	~ 令和	4	年度 事業費(千円	275
	実施年度		令和元	足年度	令和2年	度	令和3年度	令和4年度
	事業内容							宅老所を整備する ための経費の一 部を助成する。
事	業費(単位:千円)	補助率						275
	国庫支出金							
財	県支出金							
源	市債							
内	ふるさと応援寄附金							
訳	その他(雑入)							548
	一般財源							△273

4. 本年度の事業費内訳		予算額()	単位:千円)
内	容	補助	単独
償還金,利子及び割引料 (償還金)			275
過年度県補助金	274,499円		
			275

5. その他参考となる事項

平成18年度佐賀県宅老所開設支援事業費補助金

 補助総額
 2,150,000円

 佐賀県負担分
 1,075,000円

嬉野市負担分 1,075,000円

廃止施設 宅老所1件

廃止予定時期 令和5年3月末予定

○その他財源の内訳 ※処分制限期間22年、経過年数16年

事業所からの補助金返還額 2,150,000円-137,000円(初度設備購入費)=2,013,000円

(22年-16年)/22年×2,013,000円=548,999円

(内訳)

佐賀県分 274,499円

嬉野市分 274,500円

令和4年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款 3 民生費 項 3 生活保護費 目 2 扶助費 事業名 生活保護扶助費											
総合計画による位置	総合計画による位置づけ 基本方針 ともに支え笑顔あふれるまちづくり 政策分野 ④地域福祉・生活福祉										
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	予算書^	ページ 49	新規		継続	\circ

1. 事業の目的・効果

生活に困窮している人に対し、その困窮の程度に応じて必要な保護を行うことで、その世帯の最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とする。

2. 事業内容

生活扶助〔衣食、光熱水費などの居宅日常生活及び入院・入所者の日用品代等の扶助〕、住宅扶助〔家賃、家屋の補修・維持に要する費用〕、 教育扶助〔義務教育就学者への学用品、給食費等の費用に対する扶助〕、出産扶助〔出産費用に対する扶助〕、生業扶助〔生業に必要な技能修得費、高等学校就学費、就職支度費等に対する扶助〕、葬祭扶助〔葬祭に要する費用に対する扶助〕、就労自立給付金〔安定した職業に就いたことにより保護廃止となった者への給付金〕、施設事務費〔救護施設入所者の入所委託費用〕、 医療扶助〔入院・入院外治療、薬剤等の費用に対する扶助〕、 介護扶助〔介護や支援を要する人が介護サービス等を利用するための扶助〕

4. 本年度の事業費内訳

3.	全体計画	事業期間	令和 元 年度	~ 令和 4	年度 事業費(千円)	1,769,973
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容		生活保護扶助 費	生活保護扶助 費	生活保護扶助 費	生活保護扶助 費
事	業費(単位:千円)	補助率	480,339	436,975	418,607	434,052
	国庫支出金	3/4	397,408	387,326	349,247	324,787
財	県支出金	1/4	27,763	28,440	17,813	16,330
源	市債					
内	ふるさと応援寄附金					
訳	その他(雑入)		7,405	7,571	5,288	1,000
	一般財源		47,763	13,638	46,259	91,935

5.	その他参考となる事項	

当初予算事業費 484,834千円 3月補正事業費 △50,782千円 (補正財源内訳) 国庫支出金 △38,087千円 県支出金 △5,520千円 一般財源 △7,175千円

補正後事業費 434,052千円

, , , , , , ,	内容	壮山), х ү
ni zb	1 1	補助	単独
扶助費	生活扶助	92,643	
	住宅扶助	57,000	
	教育扶助	660	
	その他扶助(出産扶助、生業扶助、葬祭扶助、就労自立給付金)	2,150	
	施設事務費	20,141	
	医療扶助 (入院 195,300千円 外来他 102,540千円)	297,840	
	介護扶助	14,400	
	【今回減額補正】△50,782,000円		
	生活扶助 △7,638,000円	△ 7,638	
	施設事務費 △4,410,000円	△ 4,410	
	医療扶助 (入院 △38,734,000円)	△ 38,734	
		·	
	; !		
	 計	424.050	
	頁	434,052	

予算額(単位:千円)

令和4年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款 3 民	生費	項 2 り	児童福祉費	目 1 !	児童福祉総務費	事業	差名 施設	型給付費	合付費			
総合計画によ	総合計画による位置づけ 基本方針 ともに支え笑顔あふれるまちづくり 政策分野 ①妊娠・出産・子育て												
実施主体		市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課		予算書ペー	ージ 47	新規		継続	\circ

1. 事業の目的・効果

小学校以降の教育の基礎を作るための幼児期の教育を行う施設、就労などのため家庭での保育ができない保護者に代わって保育する施設、教育と保育を一体的に行う施 設を支援するとともに、入所児童の福祉の向上を図る。

2. 事業内容

保育所、認定こども園、幼稚園に対し運営経費として施設型給付費、地域型保育給付費を支弁する。 (認可保育所8園、幼保連携型認定こども園4園、新制度幼稚園1園、小規模保育所1園 等)

3.	全体計画	事業期間	令和 元 年度	~ 令和 4	年度 事業費(千円)	4,442,425
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容		特定教育・保育 施設の施設型 給付費を支弁	特定教育・保育 施設の施設型 給付費を支弁	特定教育・保育 施設の施設型 給付費を支弁	特定教育・保育 施設の施設型 給付費を支弁
事	業費(単位:千円)	補助率	1,052,660	1,135,705	1,101,164	1,152,896
		1/2	468,609	543,023	545,670	560,585
財	, , , , , ,	1/4	216,286	251,793	249,505	251,410
源	市債					
内	ふるさと応援寄附金					
訳	その他		91,622	52,786	42,804	43,426
	一般財源		276,143	288,103	263,185	297,475

5. その他参考となる事項

当初予算事業費	1,195,288 千円
4月補正事業費	25,439 千円
12月補正事業費	10,604 千円
3月補正事業費	△ 78,435 千円
(補正財源内訳)国庫支出金	△ 36,824 千円
県支出金	△ 19,187 千円
一般財源	△ 22,424 千円

補正後事業費

1,152,896 千円

【補正内容】 処遇改善加算額の減少、保育園等実績見込み(入所児童数減) による減額

4. 本年度の事業費		予算額(単	单位:千円)
	内容	補助	単独
旅費	普通旅費11,220円 (保育料徴収)		12
需用費	消耗品費80,703円、印刷製本費83,595円		165
役務費	通信運搬費155,400円、手数料270,820円		427
委託料	保育所(施設型給付費) 736,381,220円	736,382	
	【今回減額補正】		
	保育所(施設型給付費) 実績見込△36,925,679円	△ 36,925	
負担金,補助及び交付金	認定こども園(施設型給付費) 406,223,020円	483,741	
	幼稚園(施設型給付費) 33,102,380円		
	小規模保育所(地域型保育給付費) 44,412,760円		
	【今回減額補正】		
	認定こども園(負担金) 実績見込△34,213,283円	△ 41,510	
	幼稚園(負担金) 実績見込△1,707,259円		
	小規模保育所(地域型保育給付費) 実績見込△5,590,347円		
償還金,利子及び交付金	国庫、県費償還金		10,604
			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	# 	1.141.688	11,208

令和4年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	項 2 児	見童福祉費	目 1 り	児童福祉総務費	事業	名 放課後り	見童健全育	成事業			
総合計画による位置づけ 基本方針 ともに支え笑顔あふれるまちづくり 政策分野 ①妊娠・出産・子育て											
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課		予算書ペーシ	47	新規	継続	\circ

1. 事業の目的・効果

労働等により、保護者が昼間家庭にいない小学校児童に対し、放課後の適切な遊び及び生活の場を提供し、子どもの状況や発達段階を踏まえながら、児童の健全育成を図 る。

4. 本年度の事業費内訳

2. 事業内容

令和4年度実施場所 五町田小学校(4クラブ)、久間小学校(2クラブ)、塩田小学校(1クラブ)、嬉野小学校(4クラブ)、轟小学校(1クラブ)、吉田小学校(2クラブ)、 計16クラブ

大草野小学校(1クラブ)、大野原小学校(1クラブ)

民営放課後児童クラブ(1クラブ)

※祝祭日、日曜、お盆(8/13~8/15)、年末年始(12/29~1/3)を除く

3.	全体計画	事業期間	令和 元 年度	~ 令和 4	年度 事業費(千円)	602,095
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容		放課後児童健 全育成事業	放課後児童健 全育成事業	放課後児童健 全育成事業	放課後児童健 全育成事業
事	業費(単位:千円)	補助率	134,439	140,050	146,613	180,993
	国庫支出金	1/3	45,715	42,371	46,000	54,442
財	県支出金	1/3	34,956	38,501	41,891	54,442
源	市債					
内	ふるさと応援寄附金					
訳	その他		16,914	17,145	16,792	17,386
	一般財源		36,854	42,033	41,930	54,723

5. その他参考となる事項

当初予算事業費 188,793 千円 4月補正事業費 5,148 千円 12月補正事業費 4,028 千円 3月補正事業費 △ 16,976 千円

(補正財源内訳) 国庫支出金 △ 2,649 千円 県支出金 △ 2,649 千円 その他(保護者負担) △ 5,119 千円

> 一般財源 △ 6,559 千円 180,993 千円

補正後事業費 【補正内容】 支援員配置、送迎利用が見込みより少なかったことによる減額

11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		4 71 P2	1 1 2 1 1 37
	为容	補助	単独
旅費	普通旅費(8,810円)		9
需用費	消耗品費(事務用品等 33,180円) 印刷製本費(納付書等 43,599円)		78
	光熱水費(夏季休業中空調代 361,500円 専用施設2,483,500円)	2,845	
	修繕料(クラブ室修理費用 50,000円)	50	
役務費	手数料(口座振替手数料 73,700円)		74
	保険料(建物共済 66,457円)	67	
委託料	明日葉168,497,000円, 警備231,000円, 送り4,835,950円	173,564	
	【今回減額補正】		
	放課後児童健全育成事業	△ 11,600	
	送迎支援事業	△ 4,586	
	放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業	△ 790	
備品購入費	放課後児童クラブ備品	295	
負担金,補助及び交付金	(補助金)民営放課後児童クラブ(間接補助)	16,959	
償還金、利子及び割引料	前年度国庫補助金		4,028
•			
•			
	計	176,804	4,189
		·	

予算額(単位:千円)

令和4年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	6 農林水産業費	項 1 月	農業費	目 3 鳥	農業振興費	事	業名 産地生産	崔基盤パワ	ーアップ	事業		
総合計画による位	置づけ 基本ス	が針 進化と	創造、活力みな	さぎるまちづくり	Ŋ		Ę	女策分野	①農業			
実施主体	個人·事業者	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課		予算書ページ	54	新規		継続	0

1. 事業の目的・効果

国が定める産地生産基盤パワーアップ事業実施要綱に基づき取組主体が行う事業に要する経費を補助することにより、産地の高収益化に向けた取組や園芸作物等の生産基盤の強化を図るための取組を総合的に支援する。

2. 事業内容

園芸団地への入植者を受益者として含む農業者の組織する団体が行う低コスト耐候性ハウスの整備に係る費用の一部を助成する。 補助率 国1/2以内、県4/20以内(上限3,000万円/人)、市町1/20以内(上限750万円/人)

3.	全体計画	事業期間	令和	2 年度	~ 令和	年度 事業費(千円)	1,571,001
	実施年度		令和	元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容				低コスト耐候性 ハウス	低コスト耐候性 ハウス	低コスト耐候性 ハウス
事	業費(単位:千円)	補助率			42,900	911,228	616,873
	国庫支出金						
財	県支出金				40,040	877,251	576,170
源	市債						
内	ふるさと応援寄附金						
訳	その他					16,449	18,425
	一般財源			_	2,860	17,528	22,278

4. 本年度の事業費内訳		予算額()	单位:千円)
内	容	補助	単独
負担金、補助及び交付金 (補助金)きゅうり低コスト耐候	性ハウス 8件	616,873	
計		616,873	

5. その他参考となる事項

	*************************************					負担区分				
取組主体	対象作物	積	農業者数	事業内容	総事業費	県費		市町費	自己資金	
		植				国庫相当額	県費加算額	川川貫	日し頁金	
佐賀県農業協同組合	きゅうり	18,857 m²		生産技術高度化施設 ・低コスト耐候性ハウス 8棟18,857㎡ (作付面積17,946㎡、 管理室911㎡) ・複合環境制御装置、細霧冷房装置、 炭酸ガス発生装置、循環扇 等	909,363,400円	413,347,000円	162,823,000円	40,703,000円	292,490,400円	

令和4年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 詩	大 6 農林	水産業費	項 1 鳥	農業費	目 3 月	農業振興費	事	事業名 ノ	ハウス団坩	也基盤整個	備事業		
総合計画による位置づけ 基本方針 進化と創造、活力みなぎるまちづくり 政策分野 ①農業													
実施主体		巿	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課		予算書	小ジ	54	新規	継続	0

1. 事業の目的・効果

近年、市内では新規就農者の施設園芸が中心であり、今後もトレーニングファーム卒業生や意欲ある就農者の増加が見込まれる。しかし、施設園芸の場合、水源、日照、土壌等の条件が良い圃場の選定および、ハウスを建設するための土地の造成等に必要な資金の面において苦慮されているのが現状である。そのため、ハウス団地を整備することにより、新規就農者の圃場選定の課題を解決し、さらには土地の造成に対する費用削減を図ることで、新規就農者の負担軽減と安定した営農形態の確立、更には市外からの新規就農者の確保による移住促進を図る。

4 木圧度の重業費内記

2. 事業内容

ハウス団地整備地区の暗渠排水、土層改良、区画整理工等の整備を行う。

3.	全体計画	事業期間	令和 3	年度	~ 令和	5	年度 事業費(千円)	125,539
	実施年度		令和テ	足年度	令和2年	度	令和3年度	令和4年度
	事業内容						ハウス団地基盤 整備	ハウス団地基盤 整備
事	業費(単位:千円)	補助率					66,953	58,586
	国庫支出金						31,130	18,150
財	県支出金						8,490	4,950
源	市債							
内	ふるさと応援寄附金						20,500	20,000
訳	地方創生臨時交付金							
	一般財源						6,833	15,486

4. 本午度の事業質内訳	丁昇領(甲	·似:十円)
内 容	補助	単独
委託料 基盤整備事業(実施設計、整地業務 9,000千円)	2,000	7,000
【今回追加補正】		
整地業務		5,000
工事請負費 基盤整備 43,200千円	31,000	12,200
【今回追加補正】		
張りコンクリート		1,000
負担金、補助及び交付金 負担金 131千円		131
【今回追加補正】		
特別賦課金		255
計	33,000	25,586

予質類(単位:壬四)

5. その他参考となる事項

※補助概要等については当初予算と同じ

当初予算事業費 52,331千円 3月補正事業費 6,255千円

(補正財源内訳)

一般財源 6,255千円

補正後事業費 58,586千円

令和4年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	6 農林	水産業費	項 1 鳥	農業費	目 4 差	茶業振興費	事業名	が園芸生	生産888億	5円推進事	業		
総合計画による位	位置づけ	基本方針	・進化と	創造、活力みな	ぎるまちづく	Ŋ		政	策分野	①農業			
実施主体			所属部	産業振興部	所属課	茶業振興課	予算書	書ページ	55	新規		継続	0

4. 本年度の事業費内訳

1. 事業の目的・効果

革新的技術の導入による収量・品質の向上及び省エネ・省力化技術の普及を進めるとともに、農業者を育成することにより経営の安定を図る。

2. 事業内容

農業者が組織する団体に対し県費1/2以内、市費1/10以上の助成を行う。

3.	全体計画	事業期間	令和 年度	~ 令和	年度 事業費(千円)	
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容		設、機械等整備	茶生産・加工施設、機械等整備費への補助	茶生産・加工施設、機械等整備費への補助	茶生産・加工施設、機械等整備費への補助
事	業費(単位:千円)	補助率	16,077	20,491	28,972	125,885
	国庫支出金					
財	県支出金	1/2	12,778	16,687	24,141	104,899
源	市債					
内	ふるさと応援寄附金					
訳	その他					
	一般財源		3,299	3,804	4,831	20,986

1 1 1 1 2 4	
茶生産·加工施設、機械等整備	負担 補足
費への補助	
125,885	
104,899	
104,899	
20,986	

5. その他参考となる事項

※事業概要等については当初予算と同じ

当初予算事業費 139,957 千円 3月補正事業費 △ 14,072 千円

(補正財源内訳) 県支出金 △ 11,725 千円 △ 2,347 千円 一般財源

補正後事業費 125,885 千円

	内 容	補助	単独
負担金,補助及び			
補助金	茶生産・加工施設、機械等整備費への補助	139,957	
	【今回減額補正】	-14,072	
		+	
	; 		
		+	
	計	125,885	
9			

予算額(単位:千円)

令和4年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	8 土木費	項 2 i	道路橋りょう費	目 2 道	道路橋りょう新設改良費	事業名 市道	道新設改良事業				
総合計画による位	置づけ 基本方	針 自然と	調和、快適住生	活のまちづく	り		政策分野	⑦道路•	交通		
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	建設課	予算書へ	59	新規		継続	0

1. 事業の目的・効果

市道の新設、道路拡幅、排水路改修を行い各種交通の安全性と渋滞の緩和を図り、また、良好な住宅環境を確保し地域生活基盤の向上を目的とする。

2. 事業内容

市道改良路線の測量設計、改良、用地買収、補償を行う。

3.	全体計画	事業期間	令和 年度	~ 令和	年度 事業費(千円)	314,316
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			市道改良	市道改良	市道改良	市道改良
	事業内容					
事	業費(単位:千円)	補助率	111,755	98,724	40,347	63,490
	国庫支出金					
財	県支出金					
源	市債	95%	57,000	48,900	22,200	25,600
内	ふるさと応援寄附金		18,336	30,000		
訳	その他					
	一般財源		36,419	19,824	18,147	37,890

5. その他参考となる事項

当初予算事業費35,000 千円第1号補正事業費35,000 千円3月補正事業費△ 6,510 千円補正財源内訳一般財源

補正後事業費 63,490 千円

4. 本年度の事業		予算額(単位:千円)
	内容	補助	単独
委託料	用地測量、設計業務		16,100
工事請負費	道路改良工事		46,600
公有財産購入費	用地買収		6,000
	【今回減額補正】 事業進捗による減		△ 5,360
補償、補填及び賠償金	物件、立木、工作物等の補償		1,300
	【今回減額補正】 事業進捗による減		△ 1,150
	<u> </u>		
	<u> </u>		
	<u>:</u> :		
	<u> </u>		
	: 計		63,490

令和4年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	8 土木費	項 2 i	道路橋りょう費	目 2 道	道路橋りょう新設改良費	事業名 社会	資本整備総合	交付金事	業(市道語	周査・改良)	
総合計画による位置づけ 基本方針 自然と調和、快適住生活のまちづくり 政策分野 ⑦道路・交通											
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	建設課	予算書ペ	ージ 59	新規		継続	0

1. 事業の目的・効果

道路防災事業及び舗装補修整備事業により通行車両及び歩行者の安全確保を図ることを目的とする。

2. 事業内容

市道防災事業路線の測量・調査・対策工事を行う。

3.	全体計画	事業期間	令和 年度	~ 令和	年度 事業費(千円)	464,085
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			市道調査·改良	市道調査·改良	市道調査·改良	市道調査·改良
	事業内容					
事	業費(単位:千円)	補助率	64,997	342,758	46,830	9,500
		52.5 • 53%	33,007	177,899	24,150	4,770
財	県支出金					
源	市債	100% • 90%	28,900	139,800	8,000	
内	ふるさと応援寄附金					
訳	その他					
	一般財源		3,090	25,059	14,680	4,730

5. その他参考となる事項

当初予算事業費1 千円第1号補正事業費2,499 千円6月補正事業費9,500 千円3月補正事業費△ 2,500 千円補正財源内訳一般財源

補正後事業費 9,500 千円

4. 本年度の	事業費内訳	予算額(単位:千円)		
	内容	補助	単独	
委託料	路面性状調查、社会資本整備計画事後評価業務	9,000	3,000	
	【今回減額補正】事後評価の自力作業可能により減		△ 2,500	
	計	9,000	500	

	124	- Da -	
•	T±.		
	41375	ᅛᆡ	

令和4年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	8 土木費	項 2 追	道路橋りょう費	目 2 道	道路橋りょう新設改良費	事業名 道路	メンテナンス事	事業(橋りょ	う補修整6	带)	
総合計画による位	正置づけ 基本方	針 自然と	調和、快適住生	三活のまちづく	Ŋ		政策分野	⑦道路•	交通		
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	建設課	予算書ペ	ージ 59	新規		継続	0

1. 事業の目的・効果

市が管理する橋梁等について、長寿命化及び修繕等に係る費用の縮減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保することを目的とする。

2. 事業内容

橋梁等の定期点検及び補修整備を行う。

3.	全体計画	事業期間	令和	2 年度	~ 令和	年度 事業費(千円)	202,083
	実施年度		令和	元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容				橋梁補修設計		橋梁補修設計· 補修工事·定期 点検
事	業費(単位:千円)	補助率			9,405	66,856	125,822
	国庫支出金	57.75•58.3%			5,197	37,917	71,138
財	県支出金						
源	市債	90%				11,900	32,400
内	ふるさと応援寄附金						
訳	その他						
	一般財源				4,208	17,039	22,284

5. その他参考となる事項

当初予算事業費23,901 千円第1号補正事業費103,799 千円6月補正事業費△ 10,978 千円3月補正事業費9,100 千円補正財源内訳国庫支出金
一般財源5,247 千円
3,853 千円

補正後事業費 125,822 千円

4. 本年度の事	¥業費内訳	予算額(単位:千円)			
		補助	単独		
委託料	橋梁定期点検、長寿命化計画見直し業務	26,522	700		
	【今回増額補正】 国の追加内示による	9,000	100		
工事請負費	橋梁補修工事(橋山橋、平古場橋)	86,500	3,000		
	:				
		122,022	3,800		

令和4年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	8 土木費	項 2 道	道路橋りょう費	目 3 多	泛通安全施設整備費	事業名 交流	通安全対策事業	É			
総合計画による位	置づけ 基本方	計 自然と	調和、快適住生	三活のまちづく	Ŋ		政策分野	⑦道路•	交通		
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	建設課	予算書	ページ 59	新規	0	継続	

1. 事業の目的・効果

R3に実施した通学路合同点検に基づき、ソフト対策の強化とあわせた整備を実施し、通学路の安全確保を図る。

2. 事業内容

通学路合同点検により市道で要対策となった箇所のうち、新設での整備が必要となる箇所の工事を行う。

3.	全体計画	事業期間	令和	4 年度	~ 令和	4	年度 事業費(千円)	9,500
	実施年度		令和	元年度	令和2年	度	令和3年度	令和4年度
	事業内容							交通安全施設 工事
事	業費(単位:千円)	補助率						9,500
	国庫支出金	58.3%						5,070
財	県支出金							
源	市債	100%						3,600
内	ふるさと応援寄附金							
訳	その他						_	
	一般財源			-				830

4. 本年度の事業費	 內訳	予算額()	単位:千円)
	内 容	補助	単独
工事請負費	交通安全施設工事 国の追加内示	8,700	800
	計	8,700	800

5. その他参考となる事項

•工事請負費

路線名	事業内容	補助	単独	計
市道南部貫通線	転落防止柵 L=120m	2,100千円	200千円	2,300千円
市道下野線	転落防止柵 L=150m	2,900千円	200千円	3,100千円
市道東吉田両岩線	路肩カラー化 L=300m	2,600千円	200千円	2,800千円
市道千堂新村線	路肩カラー化 L=100m	1,100千円	200千円	1,300千円

7	124	- 12	. 1
•	T+.		
	41'ਤਾਣ	ᅛᆡ	

【様式1】		令和4	年度 3月 4	補正予算 事	事業計画書兼主要な事業	美の説明書				
予算体系	款 11 災害	復旧費 項	2 公共土木施設災	害復旧費 目 1	現年公共土木施設災害復旧	費 事業名 市道	[永尾線地す〜	い災害復旧	事業	
総合計画に	よる位置づけ	基本方針 助	け合う安全・安心	心のまちづくり			政策分野	①消防•防	災	
実施主体	ī	市 所属	部 建設部	所属課	建設課	予算書ペ	ニージ 68	新規	〇 継続	苨
1. 事業の目的 豪雨により		二木施設災害を復	旧することにより	、民生の安定を	学図る。					
2. 事業内容 地すべり災	害が発生してい	いる市道永尾線に	おいて、災害復	旧工事を行う。						
		•				•				

3.	全体計画	事業期間	令和	4 年度	~ 令和	6	年度	事業費(千円)	400,000
	実施年度		令和	元年度	令和2年	连度	令	和3年度	令和4年度
	事業内容								市道永尾線地 すべり災害復旧 工事
事	業費(単位:千円)	補助率							1,000
	国庫支出金	2/3							0
財	県支出金								
源	市債	100%							0
内	ふるさと応援寄附金								
訳	その他								
	一般財源								1,000

	•		
5. その他参考となる事項			
当初予算事業費	-	0 千円	
12月補正事業費		148,000 千円	
3月補正事業費		△ 147,000 千円	_
補正財源内訳	国庫支出金	△ 98,666 千円	
	市債	△ 49,300 千円	
	一般財源	966 千円	

補正後事業費 1,000 千円

4. 本年度の事業費	費 内訳	予算額()	単位:千円)
	内容	補助	単独
	市道永尾線地すべり災害復旧事業	148,000	
	【今回減額補正】次年度支出見込みにより減	△ 148,000	1,000
		+	
	<u>:</u> 		
	: 計	0	1,000

令和4年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款 6 点	農林水産業費	項 1 鳥	農業費	目 9 鳥	農業農村整備費	事業名 農村地	也域防災減災事業	き(ため池、ハザ	ドードマップ・劣イ	Ľ・地震・豪雨	有耐性評価)
総合計画による位置で	進化と	創造、活力みな	ぎるまちづく	Ŋ		政策分野	①農業				
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	農林整備課	予算書ペ	ージ 55	新規		継続	\circ

4. 本年度の事業費内訳

委託料

1. 事業の目的・効果

総合的な防災・減災対策を実施することにより、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全の確保を図り、もって災害に強い農村づくりを推進する。

2. 事業内容

防災重点ため池のハザードマップ作成および、ため池劣化・地震・豪雨耐性評価を行う。

3.	全体計画	事業期間	令和 2	年度	~ 令和	年度 事業費(千円)	274,535
	実施年度		令和元	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容				整備工事測量 設計2ヶ所・廃止 工事1ヶ所	工事設計1ヶ所・ 工事1ヶ所・ HM18ヶ所	設計2·工事2· HM、劣化地震 豪雨耐性評価
事	業費(単位:千円)	補助率			20,231	30,264	224,040
		100%, 55%			12,100	24,400	209,850
財	県支出金	18%			360	1,440	3,060
源	市債	90%					2,200
内	ふるさと応援寄附金						
訳	その他	12%			3,540	960	2,040
	一般財源				4,231	3,464	6,890

5. その他参考となる事項

[事業内容] ・ため池劣化・地震・豪雨耐性評価業務委託 (14箇所)

補助基本額125,500千円×10/10=125,500千円

[補助率] 《国:100%》 ※国費は県を介しての間接補助

 既決予算事業費
 97,540千円

 3月補正事業費
 126,500千円

 (補正財源内訳)
 県支出金
 125,500千円

 一般財源
 1,000千円

補正後事業費 224,040千円

	ため池ハザードマップ作成業務委託	12,000	200
	ため池劣化・地震・豪雨耐性評価 業務委託	45,000	500
	【今回追加補正】		
	ため池劣化・地震・豪雨耐性評価 業務委託 N=14箇所	125,500	1,000
使用料及び賃借料	五本柳ため池廃止工事用地借上げ	400	100
工事請負費	ため池廃止工事(五本柳)	11,600	2,000
	ため池底樋改修工事(上林)	15,500	2,000
負担金、補助及び交付金	(負担金)佐賀県土地改良事業団体連合会特別賦課金		140
_	計	217,500	6,540

容

五本柳ため池廃止実施設計

上林ため池底樋改修実施設計

予算額(単位:千円)

単独

300

300

補助

6.000

1,500

1	様	士:	1]	
	140	┸\.	⊥ /	

令和4年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	6 農林水産業績	項 2 オ	木業費	目 4 並	告林費	事業名市	有林森林経営	事業		
総合計画による位	方針 進化と	創造、活力みな	ぎるまちづく	Ŋ		政策分野	②林業			
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	農林整備課	予算書~	ページ 56	新規	継続	0

1. 事業の目的・効果

市が所有、管理する山林について、中期的な観点から森林経営計画による施業を事業体が行う事により、効率的な経営を図る。

2. 事業内容

市有林の一部を、5ヶ年で計画的に作業道も新設しながら、搬出間伐を事業体が行う。毎年度、事業費から各補助金を差し引いた額を市が負担する。

3.	全体計画	事業期間	令和	2 年度	\sim	令和 6	年度	事業費(千円)	
	実施年度		令和	元年度	令	和2年度	令	和3年度	令和4年度
	事業内容					林の搬出 、作業道整		林の搬出 、作業道整	市有林の搬出 間伐、作業道整 備
事	業費(単位:千円)	補助率				5,140)	3,488	3,424
	国庫支出金								
財	県支出金								
源	市債								
内	ふるさと応援寄附金								
訳	その他								
	一般財源					5,140)	3,488	3,424

補正後事業費

5 その仲名	考となる事項		
[事業内容]	作業道新設及び、間伐材搬出		
	既決予算事業費 3月補正事業費	3,111千円 313千円	

3,424千円

4. 本年度の事業費内訳	予算額()	予算額(単位:千円)		
内 容	補助	単独		
負担金、補助及び交付金		3,111		
【今回追加補正】				
市有林森林経営事業		313		
計		3,424		

令和4年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	10 教育費	項 2 /	小学校費	目 1 賞	学校管理費	事業	名 特別支持	爱教室整備	事業(大草	草野)		
総合計画による位	置づけ 基本方	針しなや	かでたくましい「	人」育むまち、	づくり		亞	対策分野	①教育			
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課·学校教育課	亨	予算書ページ	63	新規	\circ	継続	

1. 事業の目的・効果

特別支援教室の整備を行うことで、支援や配慮が必要な児童に対して、より快適な学校生活を送るための環境整備が図られる。

2. 事業内容

大草野小学校に特別支援教室を整備するための工事を行う。

現在、一つの教室を知的学級と情緒学級の2学級で使用しているが、令和5年度は別室に知的学級を確保する必要があるため、教具室として使用している場所に仕切り壁を設置する工事を行う。

3.	全体計画	事業期間	令和 4	4 年度	~ 4	令和 4	年度	事業費(千円)	814
	実施年度		令和え	元年度	令和	口2年度	令	和3年度	令和4年度
	事業内容								間仕切り壁新設 等工事
事	業費(単位:千円)	補助率							814
	国庫支出金								
財	県支出金								
源	市債								
内	ふるさと応援寄附金								
訳	その他								
	一般財源								814

4. 本年度の	事業費内訳	予算額((単位:千円)
	内容	補助	単独
工事請負費	間仕切り壁新設等工事		814
	計		814

5. その他参考となる事項

工事請負費 特別支援教室整備 814,000円 (工事内容)

床面積: 27.0 ㎡ 3階教具室を仕切り、約半分を特別支援教室(1室)に改修

木造間仕切壁新設(両面ボード仕上、一部掲示クロス、遮音シート、断熱材)

照明スイッチ改修、火災報知器改修

既設棚等撤去処分~補修

7 124 Lb	•
[大夫 ()	1
【水工八】	

令和4年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	10 教育費	項 2 /	小学校費	目 2 考	教育振興費	事業名 特	別支援	教室整備	事業(大草	草野)		
総合計画による位	置づけ 基本方針	トしなや	かでたくましい「	人」育むまち	づくり		政策	策分野	①教育			
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課·学校教育課	予算書	ページ	63	新規	0	継続	

1. 事業の目的・効果

特別支援教室の整備を行うことで、支援や配慮が必要な児童に対して、より快適な学校生活を送るための環境整備が図られる。

2. 事業内容

大草野小学校に特別支援教室を整備するための備品整備を行う。

3.	全体計画	事業期間	令和 4	年度	\sim 4	令和 4		事業費(千円)	217
	実施年度		令和元	年度	令和	12年度	令和	和3年度	令和4年度
	事業内容								補聴援助システ ム機器購入
事	業費(単位:千円)	補助率							217
	国庫支出金								
財	県支出金								
源	市債								
内	ふるさと応援寄附金								
訳	その他								
	一般財源								217

4. 本年度の事業費			予算額()	単位:千円)
	内	容	補助	単独
備品購入費	補聴援助システム機器			217
	計	_		217

5. その他参考となる事項

備品購入費

補聴援助システム(マイク・送受信器) ・・・ 先生がマイクで話した音声を受信器が受け取り、児童の補聴器に送信する装置 学校の授業など、話し手との距離が離れている場合、補聴器では十分に話し手の声が拾えなかったり、周りの雑音にかき消されてしまったりするため 聞き取りをサポートするもの

令和4年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	10 教育費	項 3 「	中学校費	目 1 賞	学校管理費	事業名 空	2調設備3	收修事業	(吉田)		
総合計画による位	置づけ 基本方	針しなや	かでたくましい	人」育むまち、	づくり		政策	6分野	①教育		
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課	予算書	きページ	64	新規	継続	0

1. 事業の目的・効果

学校施設内の経年劣化した空調設備の更新を計画的に実施することで、学校の環境整備を図ることができる。令和3年度以降、毎年1校ずつ空調設備の更新を実施している。

2. 事業内容

国の「学校施設環境改善交付金」を活用して、吉田中学校の校長室、事務室、保健室、会議室(いずれも平成4年度設置)の既設の空調設備を更新する。

3.	全体計画	事業期間	令和	4 年度	~ 令和	年度 事業費(千円)	7,300
	実施年度		令和	元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容						吉田中学校 空調設備更新
事	業費(単位:千円)	補助率					7,300
	国庫支出金	1/3					2,414
財	県支出金						
源	学校教育施設等整備事業債	100%					4,800
内	ふるさと応援寄附金						
訳	その他						
	一般財源						86

4. 本年度の事	事業費内訳	予算額(単位:千円)
	内容	補助 単独
委託料	設計監理業務	660
工事請負費	空調設備更新工事	6,640
	計	7,300

5. その他参考となる事項

○歳入 活用する交付金の事業名 学校施設環境改善交付金(1/3)

学校教育施設等整備事業債

(7.300,000円-2.414,000円 $) \times 100$ %=4.800,000円(10万止)

○歳出 委託料 設計監理業務 660,000円

工事請負費 6,640,000円

(工事内容) 空調設備更新

事務室 26.9 m² 校長室 46.6 m² 保健室 62.0 m² 会議室 123.6 m²

合計 259.1 m²